



キャリア通信

第4号

発行:キャリアセンター

発行日:令和7年10月1日



10月です。

3年生の中には、9月の就職試験を終え、社会人としての一歩を踏み出した人も出てきましたね。ここまで準備では、先生方のサポートが大きな力になったと思います。感謝の気持ちは、これから学校生活の中で、ぜひ行動で伝えていってください。

そして10月は、進学希望者にとって大切な時期です。

指定校推薦の出願や面接、一般選抜に向けた準備など、いよいよ受験が本格化していきます。緊張や不安を感じることもあるかもしれません、

これまでの積み重ねを信じて、自分らしく挑んでいきましょう。

就職も進学も、個人で取り組むもののように見えるかもしれません、3年生全体で乗り越えていく“団体戦”でもあります。自分のことだけでなく、仲間の気持ちにも目を向けて、支え合いながら過ごしていけるといいですね。

進路選択は、「自分の未来を選ぶ」大切なチャンスです。努力の積み重ねによって、選べる道は広がっていきます。今目の前にある課題にどう向き合うか——その選択の積み重ねが、あなたの未来をつくっていきます。

あなたは、どんな未来を生きたいと思っていますか？

キャリアセンター長

R7年度・就職概況 [報告]

7月1日より求人票の受付が始まり、8月には受験企業を決めるための選考会議を経て、9月16日以降順次就職試験が実施されています。今年度の傾向を見てみると、少子化による人材確保の難しさから、高卒採用に力を入れる企業が増加しています。待遇改善や職場環境の整備も進んでいます。高校生の求人市場は引き続き「売り手市場」であり、企業側の採用意欲は高い状況です。ちなみに、本校に来た求人依頼を見てみると…

○指定校求人 のべ 246企業

指定校求人とは…企業が特定の高校に対して、直接求人を出す仕組みです。これは、企業がその高校の教育内容や生徒の特性を理解し、信頼しているからこそ実現するものです。

メリット：①信頼関係がある企業からの求人②応募できるのは特定の高校の生徒だけ（採用される可能性大）

注意点：学校の成績や出席状況（一般的に3年間で10日以上の欠席が多いと判断される）が選考に影響。

○指定校求人倍率 4.39倍

求人倍率とは、「1人の求職者に対して、何件の求人があるか」を表す数字です。

つまり、今年度は求職者1人に対して、求人が4件以上あったということ。（選べる幅が広い）

実際にどのような企業から求人依頼が来ているかは、キャリアセンターに来訪すると確認できます。

1・2年生は進路選択のための情報収集を常にやっていきましょう。